

令和元年度(2019年度) 理事会のポイント(第1回から第8回理事会)

第1回 令和元年(2019年)6月30日理事会

(主な議案)

- ・総会での理事承認を受けて、第1回理事会を開催し、代表理事(会長)として太田雄貴を選任(再任)しました。

第2回 令和元年7月13日理事会

(主な議案)

- ・協会事務局の移転について、以下の通り承認しました。

主たる事務所移転先: 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

移転の時期: 令和元年7月13日

- ・役付理事任命について、以下の通り承認しました。

副会長	山本 正秀
	齊田 守
	末松 英司
専務理事	宮脇 信介
常務理事	佐藤 衛
	飯田 徳光
	福田 佑輔
	浅井 直樹
	蕭 敬如

- ・登録遅延料(登録規定第7条第2項)について審議しました。本年については既に登録遅延料を請求すべき期間に入っていることにくわえて、その水準についてはさらに議論が必要との意見が大勢を占めたことから、本年は登録遅延料を徴収しないこととするとともに、来年度以降の登録遅延料の取扱いについては継続審議としました。

(主な協議事項)

- ・協会組織構成の件: 当協会の組織体制について議論しました。
- ・日本フェンシング協会殿堂入り創設の件: 当協会に長年に亘り貢献された方を表彰し殿堂入りさせるという構想について議論しました。
- ・協会メールアドレスの取り扱いの件: 当協会のメールアドレス管理の方法について議論しました。

(主な報告事項)

- ・学校訪問の件
- ・2020委員会第2回議事録およびDT業務報告の件

第3回 令和元年8月25日理事会

(主な議案)

- ・協会組織構成について審議しました。一部修正を加えて、他は原案どおりでこれを承認しました。詳細はホームページに掲示致します。
- ・委員会運営規程について審議しました。内容について、さらに吟味すべきとして、継続審議することとなりました。
- ・協会が競技会について後援・協賛・主催等に関する規則について審議しました。後援・協賛・主催を認可する場合の条件や、主催する場合の条件を明確とすべきとの意見が出され、継続審議することとなりました。
- ・当協会が新規に設定する殿堂入り表彰規程について審議しました。選出は理事会にて決定とすべき等の意見が出され、本日の審議を踏まえて原案を法務委員会において修正することを条件として承認しました。
- ・テストイベント実施の体制について承認しました。

(主な報告事項)

- ・茨城国体の実施概要について
- ・2018/2019シーズンの競技結果、世界選手権大会結果、男子エペ無意欲試合について
- ・コンプライアンス案件について
- ・2020報告について

第4回 令和元年9月29日理事会

(主な議案)

- ・スポーツ庁のガバナンスコードの策定を受け、ガバナンス確保のための一連の作業体制について審議し、承認しました。
- ・継続となっていた委員会運営規程策定について審議し、承認しました。
- ・新たに実施する運びとなった殿堂入り表彰について、山本耕司氏、田淵和彦氏の殿堂入りを審議し、承認しました。
- ・利益相反規程策定の準備について協議しました。

(主な報告事項)

- ・ 2019 世界ベテラン選手権派遣選手名簿について
- ・ 当協会の構造的問題と対応について
- ・ ルール・審判委員会組織について
- ・ 小中学生海外派遣事業について
- ・ コンプライアンス案件について
- ・ 強化に係る予算の執行状況について
- ・ 2020 東京オリンピック FIE への推薦審判員名簿について
- ・ サプリメント回収について

第5回 令和元年 10 月 27 日理事会

(主な議案)

- ・2022 世界選手権を日本に誘致することを本年のFIE総会に上程することについて審議し、半年程度を目処として、開催地並びに大会概要を定めることを条件とし、これが満たされない場合には開催申し出を引き下げることが出来ることを条件として、承認しました。なお、検討のため委員会を設置することとしました。
- ・2020 年鹿児島国体開催要項について審議し、これを承認しました。なお、日本フェンシング協会主催の大会におけるジュニア以下のカテゴリーの防具・武器基準について競技会事業本部と普及育成事業本部にて検討し、その結果を踏まえて、必要に応じ計画的に大会要項等の変更手続きを行うことが付け加えられました。
- ・倫理・懲戒規定改正について審議し、一部技術的な修正を加えて、これを承認しました。変更の主旨は、①同規定に協会コーチを明確に盛り込むこと、②内部通報窓口担当者に秘密保持義務を課すこと、③新しい組織体制との整合性を確保することです。
- ・情報開示窓口設置について協議しました。同窓口を設置する目的は、情報開示により当協会運営の透明性を確保することです。

(主な報告事項)

- ・NTC 利用について
- ・全日本団体戦役員について
- ・総務企画(広報)委員会委員名簿更新について
- ・医学委員会名簿について
- ・2020 委員会会議議事録について

第6回 令和元年 11 月 24 日理事会

(主な議案)

- ・謝金規程変更について審議し、これを承認しました。なお、当協会負担で上乘せすることが可能なのか、支給基準に幅を持たせることが可能なのかなどについて、本日欠席している福田佑輔強化本部長を含めて、さらに議論をしていくこととなりました。
- ・委員会運営規程改正の件について審議し、これを承認しました。
- ・ユニバーシアード選手選考会主管の変更について審議し、これを承認しました。この決定により、本選考会の主管は、日学連から本協会(強化本部)に変更となります。
- ・登録規程の改定について協議しました。現行規程第11条の別団体の登録に関し、実態に即した改定を行うべきとの意見が出され、本件に関しては、事業本部連絡会において引き続き検討していくこととなりました。

(主な報告事項)

・倫理委員会委員名簿について

なお、本報告に関しては、本理事会で成立した改正委員会運営規程に従って、他委員会委員とともに、理事会承認手続きを経ることとなりました。

・安全対策(FIE 新ルールの適用)について

第7回 令和2年 1月 26日理事会

(主な議案)

- ・会長不在の場合でも理事会が開催出来るよう、定款変更の手続きに入ることを審議し、承認しました。
- ・弁護士顧問契約を結んでいる井口加奈子理事の異動にともない、同契約の変更について審議しました。同理事が顧問弁護士として有効に機能していることを確認する一方、契約手続きについて整理が必要との意見等から、次回理事会で会長提案とし継続審議することとしました。
- ・日本スポーツグランプリ推薦について審議しました。協会ホームページを通じて周知を図るべきとの意見等から、次回理事会で継続審議することとしました。
- ・後援・協賛・主催等に関する規則(修正案)について審議しました。具体的な対象競技会の記載については別添とする等の修正を加えて、これを承認しました。
- ・審判員表彰を新たに行うことについて審議しました。審判員を増やし国際的に活躍できる審判員を送り出すことが必要等との意見が出され、この設置を承認するとともに、表彰委員会の取り扱いとし、予算についても表彰委員会と協議の上、来期に計上することとしました。

(主な報告事項)

- ・東京 2020 対策委員会について
- ・高円宮杯エントリーミスの対応について
- ・今期の収支状況と収入不足に関する対応について
- ・ガバナンスコード適合審査について
- ・高体連加盟校へのコーチ用プロテクター配布について
- ・会計事務所変更について
- ・アスリート委員会によるファン感謝祭実施報告について
- ・予算執行状況報告について

第8回 令和2年3月1日理事会

(主な議案)

- ・2020 年第 44 回年全国高校選抜大会のコロナウイルス対応について審議しました。共催である全国高等学校体育連盟のフェンシング専門部長釜井昭人氏に状況の説明をいただきました。新型コロナウイルス感染の影響で都道府県の決定で学校が休校しており実質的に活動休止状態の中、開催地の対応も踏まえ、大会の中止を承認しました。
- ・2020 年 3 月総会招集について審議し、承認しました。尚、新型コロナウイルス感染症の影響により正会員が一同集っての総会開催は行わず書面による議決権行使による総会決議を行うこととなりました。
- ・2020 年事業計画・予算案について審議し、承認しました。
- ・弁護士顧問契約について審議し、承認しました。利害関係人である井口理事を除く全会一致でこれを承認しました。なお、財政状況等を鑑みた特別な対応であることを踏まえ、今後の弁護士顧問契約の方針についてガバナンス確保の検討の中で議論することとなりました。
- ・日本スポーツグランプリについて審議し、候補者を承認しました。ベテラン委員会から推薦された立花良子氏を当協会として日本スポーツ協会に推薦致します。
- ・2027 年度長野国体試合会場について審議しました。同一敷地内になる 2 施設で開催すること等について開催地から要望がありましたが、競技運営上の負担等を考え、再度開催県に検討していただくこととして、審議提案差し戻しとなりました。
- ・定款変更(追加分)について審議しました。審議の結果業務執行理事が年 4 回の業務執行状況報告をする従来通りとし、提案者は審議提案を取り下げました。
- ・理事会運営規程及び議事録作成要項について審議しました。審議の結果、議事録の原案を事務局にて作成対応することや、理事候補者の理事会立ち会いについての文言を削除する等の修正を行うことを条件として承認しました。
- ・登録規程改定について審議しました。登録規程第 11 条第 2 項内ブロック予選会の開催日をブロック予選会申込期日に変更する調整を行い、提案を承認しました。
- ・コーチ行動規範の改定について審議しました。コーチの適応範囲について再度検討を要する

として、継続審議となりました。

- ・代表選手行動規範の改定について審議し、承認しました。
- ・協会決算に関わる規程類整備、剰余金解消計画について審議し、承認しました。

(主な協議事項)

- ・ガバナンスコード現状と今後の対応方針について協議しました。今回の議論を踏まえて、適合性審査に対する具体的な回答案を作成することになりました。

(主な報告事項)

- ・小学生派遣事業中止について
- ・次世代ターゲットアスリート支援事業成果報告について
- ・中長期基本計画の策定状況と今後の予定について

第9回 令和2年3月28日理事会

(会長挨拶)

- ・今回、理事会をビデオ会議で行うことが、今後の対応にも良いことだと思います。コロナウイルス感染リスクが広がっていく中、ピンチをチャンスに変えていく非常に良い事例だと思います。一方、実際に会って話すことも大切と思いますので、バランスの良い協会運営を心掛けていきたいと思います。
- ・皆さんご承知の通り、IOC、安倍首相、都知事の三者会議が行われ、事実上のオリンピックの延期が決まりました。そのうえでみなさんが興味を持ったのは、選手の選出に関してでした。IOCの方から基本的には内定を得ている選手が来年出場することをIFとの協議の中で意思統一されました。これからフェンシングとしましてはFIEの理事会で決定された後に、NFとして誰を選出するのか決定されていくことになると思われます。一方当面試合を再開するとは考えにくいので、シーズン自体がずれ込むことが考えられます。今後小さな決定でも理事間の開催待たずに理事の皆さんにはメールやLINEでお伝えしていこうと思います。日本ではまだ選手を決定しておりませんので、全ての試合が終了した後に日本選手団を決定していこうと思います。
- ・日本選手団の壮行会を6月3日に開催することを決めていましたが、オリンピックの延期に加え、6月の段階でコロナウイルスが落ち着いているとは考えにくいので、これに関しては今回中止とさせていただきます。
- ・全日本選手権大会や学連の大会なども上半期全ての大会が中止となりましたので、これから選手たちも試合をする場所が減ってくるのではないかと予想されます。皆さんのお知恵をいただきながら大学の入試にも関わる選手たちに戦いの場を作るなど、対応を考えていきたいと思います。
- ・最後になりますが、新型コロナウイルスの終息が見えない状況下でありますので、皆さんも健康管理には十分留意していただいて、フェンシングからクラスターのようなものが広がることがないように健康管理を徹底していただければと思います。

(主な議案)

- ・前回議事録の承認
- ・コーチ等行動規範の策定の件（提案者）理事 井口加奈子
これを承認可決しました。
- ・理事会運営規程細則改定の件（提案者）理事 井口加奈子
これを承認可決しました。
- ・利益相反マネジメント規程策定の件（提案者）理事 井口加奈子
これを承認可決しました。

・リスク管理ガイドライン制定の件（提案者）専務理事 宮脇信介
これを承認可決しました。

（主な協議事項）

- ・役員定年制の件（提案者）理事 井口加奈子
- ・海外からの提携覚書締結検討の件（提案者）専務理事 宮脇信介

（主な報告事項）

- ・第7回 2020 対策委員会について（提案者）副会長 齊田守
- ・令和2年度日本F協会主催・後援大会について（提案者）理事 辻村真一郎
- ・新型コロナウイルスに対する強化本部対応について（提案者）常務理事 福田佑輔
- ・職員正規雇用について（提案者）専務理事 宮脇信介
- ・佐賀県連携協定について（提案者）会長 太田雄貴

以上